

# 中宮中だより

No. 6

平成29年(2017年)7月20日

枚方市立中宮中学校

校長 鶴島 茂樹

## 「瀧本邦慶さんのお話を聞いて」

先日、瀧本邦慶さん(95歳)をお招きして、貴重な戦争体験について語っていただきました。今、先生たちも含めてほとんどの大人が、「戦争を知らない世代」になりつつあります。だからこそ、瀧本さんのような方から、「戦争」の実際を学び、平和を守ることの大切さを実感する必要があるのだと思います。

みなさんの「瀧本さんへの手紙」をほんの少し紹介しておきます。

### (1年生) <今また戦争になったら・・・>

○私は瀧本さんのお話を聞いて、すごく考えることがあります。それは、もし今また戦争になったらどうなるんだろうということです。

この前、お母さんと戦争の映画をみました。私は嫌だといったけど、お母さんが「これは知っておかないといけないことだからみよう」と言ったのでみました。その時の映画の内容と今日聴かせていただいた内容がすごく似ていて、私にももしこんなことがあったら？って映画の時もお話の時も考えたんです。

毎日ごはんが食べられること、寝られること、それがいつできなくなるかわからないんだ・・・それがどれだけおそろしいことか、考えさせてくれました。

また色々聴いて、考えたいと思えるお話でした。ありがとうございました。

### (2年生) <この話をずっと語り続けていきたい>

○今回は暑い中、貴重なお話を聴かせていただき、本当にありがとうございました。

戦争については、「はだしのゲン」を読んだりしたので、けっこう知っていると思っていたけど、「はだしのゲン」は子ども目線の話であったので、瀧本さんの海軍目線の話は、初めて聴いたことばかりでした。

瀧本さんの言い方はすごく気持ちがこもっていて、この人は本当にこの話を私たちに伝えたいのだなということがわかりました。瀧本さんがお話ししていた通り、家に帰ってから、家族に今日聴いた話を伝えます。

将来子どもができたなら子どもにも伝え、この話をずっとずっと語り続けていけるようにしたいです。

### (3年生) <戦争の現実>

○私にとって戦争とは「知識」で、ミッドウェー海戦もレイテ島も教科書で読んで知っているものでした。しかし、今回のお話を聴かせていただいて、戦争は「～があった」という無機質な文章だけではとても表現できないものだということを知りました。戦争中は普段の常識と全く違うことが平気で行われていて、国民も洗脳されてそのことを受け入れてしまうこと。明らかにおかしいことを上司が言っても逆らうことは許されない軍の世界。それらの「ゆがみ」がつまり戦争をするということなのだと思いました。

暑い中、「戦争の現実」を話してくださり、ありがとうございました。

### (3年生) <私は戦争をする国の国民にはなりたくない>

○私たちに暑い中貴重なお話、ありがとうございました。今日のお話でいろんなことが学べました。瀧本さんのマイクなしでの大きな声、そして怒りを覚えた顔・・・戦争が瀧本さんにどれだけの影響を及ぼしたのか、この目ではっきりとわかりました。瀧本さんは、結論を私たちに押し付けませんでした。「戦争に反対か賛成か自分で判断しなさい」、そうおっしゃいました。私は戦争に反対します。私たち国民に主権がある今、私たちが戦争をするかしないか決められます。上層部が決めるわけではありません。

私は戦争をする国の国民にはなりたくありません。だから、絶対戦争には反対します。

## <終業式、夏休み、そして新しいスタートへ向かって>

生徒総会、宿泊学習、修学旅行、体育祭等々、大きな取り組みが連続した1学期も終わりました。みんな本当によく頑張ったと思います。

さて、目の前の夏休みはたしかに楽しそうで魅力的ではあるけれど、気がつけばあっという間に終わってしまいます。決して無駄な毎日にしないでください。計画性を持って、勉強と部活動、そして自分の時間、それぞれを大切にしてください。

特に3年生は、義務教育最後の夏休み。「受験」を意識するのは当然かもしれませんが、しかし、「受験生」という言葉に縛られすぎないでください。当たり前前に規則正しく毎日を過ごし、やるべきことに普通に組み込んでいってください。

一番大切なことは、みなさんが元気に2学期の始業式(8月28日)を迎えることです。自分の心と身体を大切に、充実した夏休みを過ごしてください。

### <保護者のみなさまへ>

平素より本校教育活動にご理解、ご協力賜りありがとうございます。夏休みはお子様の生活、健康にご留意いただき、来学期もよろしくお願いたします。